

12月4日(木)

9:30 〈一橋講堂〉

開場・大会受付

10:20 – 10:25 〈一橋講堂〉

開会式

開会挨拶

大会会長 宇野 芳文（田辺三菱製薬株式会社）

10:30 – 12:00 〈一橋講堂〉

一般講演 1

発表 12 分 討論 3 分

座長：鈴木 孝昌（国立医薬品食品衛生研究所）
戸塚 ゆ加里（国立がん研究センター研究所）

- O-1** 10:30 中国における食道癌発症要因の集学的アプローチによる解明
(P-004) 池田 茜^{1,6}、加藤 護²、柴田 龍弘²、黒坂 功³、林 櫻松⁴、松島 芳隆⁵、遠藤 治⁶、中釜 斉¹、戸塚 ゆ加里¹
¹国立がんセンター 発がんシステム、²がんゲノミクス、³バイオインフォ、⁴愛知医科大学・公衆衛生、⁵東京農大・応用生物、⁶麻布大学・生命環境科学
- O-2** 10:45 職業性胆管癌及びジクロロプロパン曝露細胞の塩基置換シグネチャー解析
(P-005) 後藤 正憲¹、三牧 幸代²、久保 正二³、土原 一哉²、中釜 斉¹、戸塚 ゆ加里¹
¹国立がん研究センター 研究所、²国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター、³大阪市立大学
- O-3** 11:00 マウス長期継代系統を用いた生殖系列突然変異率の閾値とその影響
(P-006) 内村 有邦¹、樋口 真弓¹、水口 洋平²、西野 穰³、豊田 敦²、藤山 秋佐夫²、八木 健¹
¹大阪大学 生命機能研究科、²国立遺伝学研究所 生命情報研究センター、³統計数理研究所 数理・推論研究系
- O-4** 11:15 マウス全エクソンシーケンス解析による経世代突然変異の測定
増村 健一¹、豊田 尚美¹、権藤 洋一²、能美 健彦³、本間 正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部、²理化学研究所バイオリソースセンター、³国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター
- O-5** 11:30 福島シミュレーション実験としての¹³⁷Csのマウス多世代低線量率内部被曝による子孫での突然変異の蓄積性
中島 裕夫¹、山口 喜朗²、吉村 崇²、福本 学³、藤堂 剛¹
¹大阪大学大学院 医学系研究科 放射線基礎医学、²大阪大学 ラジオアイソトープ総合センター、³東北大学大学院 加齢医学研究所
- O-6** 11:45 PM2.5 のリスク推定－喫煙との比較から－
(P-003) 渡辺 雅彦、阿藪 寛明、末丸 克矢
就実大学薬学部

10:30 — 11:45 〈特別会議室〉

一般講演 2

発表 12 分 討論 3 分

座長：伊東 悟（第一三共株式会社）
森田 健（国立医薬品食品衛生研究所）

- O-7** 10:30 DNA アダクトーム解析法による 2,4- および 2,6- ジアミノトルエンの DNA アダクト形成メカニズム検討
武藤 重治、山田 勉也、加藤 杏子、加藤 竜也、岩瀬 裕美子、竹川 晃司、宇野 芳文
田辺三菱製薬株式会社
- O-8** 10:45 フローサイトメーターの側方散乱光と Histone H3 のリン酸化を利用した銀ナノ粒子の生体影響評価
(P-039) 趙 曉旭、伊吹 裕子
静岡県立大学 食品栄養環境科学研究所
- O-9** 11:00 大腸炎モデルを用いた大腸における変異原性非発がん物質によるマウス大腸腫瘍の誘発
(P-058) 小山 直己¹、関 由妃¹、園田 二郎¹、棚橋 新也²、細川 暁¹、朝倉 省二¹、中野 今日子¹、羽倉 昌志¹
¹エーザイ株式会社筑波安全性研究部、²株式会社サンブラネット 安全性事業部
- O-10** 11:15 マイクロ RNA 発現解析による、コメットアッセイ偽陽性の判定
(P-048) 岡 宏之¹、上原 健城²、森川 裕二¹、花房 弘之¹、増野 功一¹、宮島 博文¹
¹シオノギ製薬株式会社 開発研究所、
²シオノギ製薬株式会社 グローバルプロジェクトマネジメント部
- O-11** 11:30 曝露マージンから生体内曝露マージン (iMOE) へ
(P-008) - Hb 付加体を用いた発がん性物質のリスク評価 -
本田 大士、藤井 健吉、笠松 俊夫、池田 直弘、西山 直宏
花王株式会社 基盤研究セクター 安全性科学研究所

13:00 — 14:00 〈一橋講堂〉

総 会

14:00 — 15:00 〈一橋講堂〉

受賞講演

座長：青木 康展（国立環境研究所）

平成 26 年度日本環境変異原学会 学会賞

- AW** 14:00 ショウジョウバエを用いた、紫外線およびアルキル化剤により誘発される突然変異の要因となる DNA 障害とその修復に関する研究
根岸 友恵
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

平成 26 年度日本環境変異原学会 研究奨励賞

- AA** 14:25 成熟ラットを用いた反復投与肝小核試験法の開発に関する研究
成見 香瑞範
株式会社ヤクルト本社中央研究所

平成 26 年度日本環境変異原学会 功労賞

- SA-1** 14:40 レギュラトリーサイエンスにおける遺伝毒性の国際的協調に対する貢献
林 真
公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
- SA-2** 14:50 変異機構研究会の継続的開催を通じた若手研究者育成への貢献
高橋 和彦
横浜薬科大学

15:10 – 17:40 〈一橋講堂〉

シンポジウム 1 「遺伝毒性評価の新機軸：インテリジェントテストシステム」

座長：本間 正充（国立医薬品食品衛生研究所）
山村 英二（田辺三菱製薬株式会社）

- S1-1** 15:10 遺伝毒性インテリジェントテストシステム
本間 正充
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- S1-2** 15:40 Mechanism based QSAR for Predicting Mutagenicity and Carcinogenicity
Ovanes Mekenyan
Laboratory of Mathematical Chemistry, Asen Zlatarov University, Bourgas, Bulgaria
- S1-3** 16:10 Hypothesis generation through holistic analysis of Tox21 data
Scott S Auerbach
Biomolecular Screening Branch, Division of the National Toxicology Program at NIEHS, US
- S1-4** 16:40 DNA アダクトーム法による遺伝毒性の評価
松田 知成
京都大学工学研究科
- S1-5** 17:10 部位特異的にゲノム内に導入した DNA 付加体の遺伝的影響
安井 学
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

17:45 – 18:45 〈中会議場〉

ポスター発表 コアタイム：奇数番号

19:00 – 20:30 〈如水会館 2F スターホール〉

懇親会

12月5日 (金)

9:30

〈一橋講堂〉

開場・大会受付

10:30 – 11:45

〈一橋講堂〉

一般講演 3

発表 12 分 討論 3 分

座長：紙谷 浩之（広島大学大学院医歯薬保健学研究院）
布柴 達男（国際基督教大学大学院アーツサイエンス研究科）

- O-12** 10:30 ホルムアルデヒド暴露による紫外線感受性の上昇と DNA 損傷修復の遅延
(P-073) 楊 光、伊吹 裕子
静岡県立大学 食品栄養科学研究院
- O-13** 10:45 長波長紫外線（365 nm-UVA）の変異誘発傷害とその修復機構
樊 星¹、有元 佐賀恵¹、豊岡 達士²、伊吹 裕子²、趙 曉旭²、鈴木 利典³、根岸 友恵¹
¹岡山大学医歯薬学総合研究科、²静岡県立大学食品栄養科学研究科、³就実大学薬学部
- O-14** 11:00 ゲノムに導入させた酸化的クラスター DNA 損傷の数的遺伝毒性影響
(P-017) 佐々 彰、鴨下 渚、兼丸 祐紀、本間 正充、安井 学
国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部
- O-15** 11:15 *Mutyh* 遺伝子欠損マウスを用いた酸化ストレス誘発消化管がんの解析
(P-071) 大野 みずき¹、鷹野 典子¹、佐々木 史子¹、田口 健一²、中別府 雄作^{3,4}、青木 康展⁵、
能美 健彦⁶、中津 可道¹、續 輝久¹
¹九大・医学研究院・基礎放射線医学分野、²九州がんセンター・腫瘍病理学研究室、
³九大・生医研・脳機能制御学分野、⁴九大・ヌクレオチドプール研究センター、
⁵国立環境研究所・環境リスク研究センター、⁶国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター
- O-16** 11:30 メチルシトシン酸化誘導体が導く複製機構の障害
倉岡 功、渋谷 敏博、岩井 成憲
大阪大学大学院 基礎工学研究科

12:00 – 12:55

〈特別会議室〉

ランチョンセミナー

座長：中嶋 圓（静岡県立大学）

- LS** 12:00 The comet assay in practice; how to get good data from bad tissues
Brian Burlinson
Safety Assessment, Huntingdon Life Sciences

13:00 – 14:00

〈中会議場〉

ポスター発表

コアタイム：偶数番号

14:00 – 14:45 〈一橋講堂〉

特別講演

望月喜多司記念賞

座長：宇野 芳文（田辺三菱製薬株式会社）
プレゼンター：青木 康展（国立環境研究所）

PL 14:00 Mammalian cell results with Ames-positive chemicals – correlations with presence or absence of *in vivo* genotoxic or carcinogenic activity
David Kirkland
Kirkland Consulting, UK

14:55 – 17:30 〈一橋講堂〉

シンポジウム 2 「メカニズムを基軸とする遺伝毒性・発がん性リスク評価の実際」

座長：若林 敬二（静岡県立大学）
宇野 芳文（田辺三菱製薬株式会社）

S2-1 14:55 基調講演
Mutational signature of aristolochic acid as a unique biomarker of human cancer
Arthur P Grollman
Depts of Pharmacological Sciences and Medicine, Stony Brook University, Stony Brook, NY, USA

S2-2 15:25 デキストラン硫酸ナトリウム誘発マウス大腸炎モデルにおける大腸変異原性・非大腸発がん物質による大腸がんの誘発機序
羽倉 昌志
エーザイ株式会社 筑波安全性研究部

S2-3 15:50 病理学的視点からの遺伝毒性・発がん性機序解明へのアプローチ
石井 雄二
国立医薬品食品衛生研究所 病理部

S2-4 16:15 医薬品中の不純物に関する遺伝毒性（変異原性）及び発がん性評価
橋爪 恒夫
武田薬品工業株式会社 医薬研究本部薬剤安全性研究所

S2-5 16:40 得られた閾値をいかにヒトの安全用量に反映するか
三島 雅之
中外製薬株式会社 研究本部

S2-6 17:05 遺伝毒性・発がん性のメカニズムに基づくヒトリスク評価
宇野 芳文
田辺三菱製薬株式会社 研究本部安全性研究所

17:30 – 17:40 〈一橋講堂〉

閉会式

ポスターセッション

ポスター掲示・閲覧時間：12月4日(木) 10:00～12月5日(金) 17:00

ポスター発表：12月4日(木) 17:45～18:45【コアタイム：奇数番号】
12月5日(金) 13:00～14:00【コアタイム：偶数番号】

- P-001** 東京都内における大気中インジウム濃度の経年変化
中島 大介¹、後藤 純雄²、白石 不二雄¹、稲葉 一穂²、滝上 英孝¹
¹国立環境研究所、²麻布大学
- P-002** 日本海沿岸3県における冬季及び春季の大気粉塵の変異原性及び越境輸送の影響
クウリバリ スレイマン¹、長谷井 友尋¹、世良 暢之²、大呂 忠司³、木戸 瑞佳⁴、船坂 邦弘⁵、浅川 大地⁵、
若林 敬二^{1,6}、渡辺 徹志¹
¹京都薬科大学、²福岡県保環研、³鳥取県衛環研、⁴富山県環科セ、⁵大阪市環科研、⁶静岡県大
- P-003** PM2.5 のリスク推定－喫煙との比較から－
(O-6) 渡辺 雅彦、阿藤 寛明、末丸 克矢
就実大学薬学部
- P-004** 中国における食道癌発症要因の集学的アプローチによる解明
(O-1) 池田 茜^{1,6}、加藤 護²、柴田 龍弘²、黒坂 功³、林 櫻松⁴、松島 芳隆⁵、遠藤 治⁶、中釜 斉¹、
戸塚 ゆ加里¹
¹国立がんセ 発がんシステム、²がんゲノミクス、³バイオインフォ、⁴愛知医科大学・公衆衛生、⁵東京農大・応用生物、
⁶麻布大学・生命環境科学
- P-005** 職業性胆管癌及びジクロロプロパン曝露細胞の塩基置換シグネチャー解析
(O-2) 後藤 正憲¹、三牧 幸代²、久保 正二³、土原 一哉²、中釜 斉¹、戸塚 ゆ加里¹
¹国立がん研究センター 研究所、²国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター、³大阪市立大学
- P-006** マウス長期継代系統を用いた生殖系列突然変異率の閾値とその影響
(O-3) 内村 有邦¹、樋口 真弓¹、水口 洋平²、西野 稔³、豊田 敦²、藤山 秋佐夫²、八木 健¹
¹大阪大学 生命機能研究科、²国立遺伝学研究所 生命情報研究センター、³統計数理研究所 数理・推論研究系
- P-007** EU、ドイツおよび日本における生殖細胞変異原の分類比較
森田 健、小宮 佐知子
国立医薬品食品衛生研究所安全情報部
- P-008** 曝露マージンから生体内曝露マージン (iMOE) へ
(O-11) - Hb付加体を用いた発がん性物質のリスク評価 -
本田 大士、藤井 健吉、笠松 俊夫、池田 直弘、西山 直宏
花王株式会社 基盤研究セクター 安全性科学研究所
- P-009** 変異原曝露モニタリング手法としてのタンパクアダクトミクス
Suresh Thiruppathi¹、斎藤 嘉朗²、本間 正充³、佐藤 陽治¹、鈴木 孝昌¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子細胞医薬部、²国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部、
³国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-010** ゲノム中の DNA 修飾の単分子検出方法の検討
椎崎 一宏、後藤 正憲、濱 奈津子、新井 康仁、柴田 龍弘、中釜 斉、戸塚 ゆ加里
国立がん研究センター
- P-011** イノシンを含む RNA の新たな検出方法の確立
松田 雪恵、岩井 成憲、倉岡 功
大阪大学大学院基礎工学研究科

- P-012** アルデヒドが誘発する DNA 損傷の解析
 中野 敏彰、謝 明章、合田 美月、シオルカミー マハムド、井出 博
 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻
- P-013** 紫外線によるオリゴヌクレオチド中シトシンの光水和反応の解析について
 河野 健吾、木村 道夫、根岸 和雄
 日本薬科大学薬学部
- P-014** 非遺伝毒性発がん物質、1,4- ジオキサン投与ラット肝臓における DNA 付加体の網羅的解析
 秋本 峻太郎^{1,3}、加藤 護²、柴田 龍弘²、遠藤 治³、魏 民⁴、中釜 齊¹、鰐淵 英機⁴、福島 昭治⁵、
 戸塚 ゆかり¹
¹国立がんセンター、²がんゲノミクス、³麻布大学、⁴大阪市大・医・分子病理、⁵日本バイオアッセイ研究センター
- P-015** フレームシフト型突然変異を検出する部位特異的修飾プラスミドの作製とヒト細胞における TLS 解析
 金山 尚裕¹、川西 優喜¹、高村 岳樹²、八木 孝司¹
¹大阪府立大学理学系研究科、²神奈川工科大学応用化学科
- P-016** DNA 塩基損傷 1 分子を部位特異的にもつプラスミドの作製とヒト細胞における TLS 解析
 長野 聖也¹、東垣 由夏¹、佐々 彰²、川西 優喜¹、安井 学²、高村 岳樹³、八木 孝司¹
¹大阪府立大学 理学系研究科、²国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部、³神奈川工大 応用化学科
- P-017** ゲノムに導入させた酸化のクラスター DNA 損傷の数的遺伝毒性影響
 (O-14) 佐々 彰、鴨下 渚、兼丸 祐紀、本間 正充、安井 学
 国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部
- P-018** パーフルオロアルキル酸の遺伝毒性は酸化ストレスによる
 津田 修治¹、清水 尚登²、高橋 知美³、齋藤 憲光¹、佐々木 有^{3,4}
¹岩手県環境保健研究センター、²アジレントテクノロジー、³八戸高専・物質、⁴姫路獨協大・薬
- P-019** 細菌に対する変異原性予測を目的とした 2 種の相補的な (Q)SAR モデルの検証
 加藤 竜也、武藤 重治、岩瀬 裕美子、宇野 芳文
 田辺三菱製薬株式会社
- P-020** 多環芳香族炭化水素の変異原性と構造の活性相関
 高村 岳樹¹、萩野 真宏^{1,2}、三崎 健太郎^{3,4}
¹神奈川工科大学応用化学科、²静岡県立大学食品栄養環境科学研究院、³京都大学流域圏総合環境質研究センター、
⁴愛媛大学沿岸環境科学研究センター
- P-021** 揮発性化学物質のための物理化学的パラメータ予測値を用いる Ames 試験法選択基準の構築
 坪倉 美文、藤島 沙織、鈴木 克、小椋 正造、中井 誠
 一般財団法人化学物質評価研究機構
- P-022** *N,N'* - ジエチルエチレンジアミンから生成する分解物の変異原性評価
 竹下 健太郎、竹下 千明、荒谷 祥之、堀内 俊秀、中山 拓也
 小野薬品工業株式会社
- P-023** ω - 3 系多価不飽和脂肪酸の過酸化反応から生成されるアルデヒド類の変異原性に関する研究
 グルーズ ピーター¹、清水 雅富^{1,2}、杉山 圭一¹、本間 正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部、²東京医療保健大学
- P-024** 19 研究機関による BMS 共同研究：化学合成で汎用される試薬 20 種類の Ames 試験データの収集
 羽倉 昌志¹、青儀 巧²、加藤 雅之³、杉山 圭一⁴
¹エーザイ (株) 筑波安全性研究部、²大塚製薬 (株)、³ (株) シミックバイオリサーチセンター、
⁴国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-025** 塩基性アミノ酸による Ames 試験への影響
 鈴木 健一郎、益森 勝志、林 真
 公益財団法人食品農薬品安全性評価センター

- P-026** アミノ酸含有物質のための改良 Ames 試験 (Treat & Wash 法) の検討Ⅱ
川上 久美子、根岸 沙記、増渕 恵美、園原 啓太、須井 哉
 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
- P-027** ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討 9
須井 哉¹、川上 久美子¹、根岸 沙記¹、増渕 恵美¹、園原 啓太¹、山田 雅巳²
¹一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所、²国立医薬品食品衛生研究所
- P-028** メチルオイゲノール関連物質の遺伝毒性評価におけるヒト硫酸化酵素発現株を用いた
 改変 Ames 試験
峯川 和之¹、本田 大士²、藤田 侑里香²、山口 典子¹、福田 隆之¹、小熊 義宏¹、池田 直弘²、笠松 俊夫²、西山 直宏²
¹株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所、²花王株式会社 基盤研究セクター 安全性科学研究所
- P-029** 14 種のキノロン化合物の光細胞毒性及び光遺伝毒性
藤島 沙織、坪倉 美文、島村 悠、小椋 正造、中井 誠
 一般財団法人化学物質評価研究機構
- P-030** 動物発がん物質ジフェニルアミンの遺伝毒性
佐々木 俊明、石岡 千草、浅倉 眞澄、福島 昭治
 中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター
- P-031** TK6 小核試験を用いたリスク評価の基礎検討
武下 健次、山本 祥太
 株式会社 UBE 科学分析センター
- P-032** 染色体異常試験の陽性物質リストから有用な偽陽性原料を救え
 - 細胞毒性指標の変換理論の構築と適用 -
藤田 侑里香、本田 大士、池田 直弘
 花王株式会社 基盤研究セクター 安全性科学研究所
- P-033** HUG1 および RNR2 遺伝子の発現誘導を指標とした DNA 損傷応答レポーターアッセイ酵母の樹立
山本 幸希、芳川 智哉、原島 小夜子、川西 優喜、八木 孝司
 大阪府立大学大学院理学系研究科
- P-034** EGFP-MDC1 発現細胞を用いた DNA 損傷応答阻害の検出
松田 俊¹、柳澤 信也¹、井倉 毅²、松田 知成¹
¹京大・工学研究科、²京大・放射線生物研究センター
- P-035** 植物ゲノムに生じる紫外線 (UV-C) 誘発変異の検出と変異スペクトル解析
中村 宗久¹、牧野 耕三¹、布柴 達男²、平津 圭一郎¹
¹防衛大学校 応用化学科、²国際基督教大学 教養学部
- P-036** PCNA を用いたマウス m5S 細胞の細胞周期進行の可視化と S 期阻害剤作用のライブセルイメージ
 ング解析
川喜多 愛、村田 香織、杉本 憲治
 ライブセルイメージング研究所、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
- P-037** 細胞周期遅延を指標にした細胞毒性評価と小核試験への応用 (2)
杉本 憲治^{1,2}、川喜多 愛¹、村田 香織^{1,2}
¹ライブセルイメージング研究所、²大阪府立大学生命環境科学研究科
- P-038** ナノマテリアルの毒性メカニズムに基づく新規遺伝毒性評価システムの確立
深井 瑛美^{1,2}、渡邊 昌俊²、中釜 斉¹、戸塚 ゆ加里¹
¹国立がん研究センター研究所発がんシステム研究分野、²横浜国立大学大学院
- P-039** フローサイトメーターの側方散乱光と Histone H3 のリン酸化を利用した銀ナノ粒子の生体影響評価
 (O-8) 趙 曉旭、伊吹 裕子
 静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院

- P-040** 酸化チタンの粒子特性の違いが遺伝毒性に与える影響
米田 怜未¹、川西 優喜¹、戸塚 ゆ加里²、八木 孝司¹
¹大阪府立大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 分子細胞遺伝学研究室、
²国立がん研究センター発がんシステム研究分野
- P-041** リガンドを介した AhR 活性化に及ぼす BCRP 阻害の影響
関本 征史¹、保坂 卓臣^{1,2}、吉成 浩一¹、出川 雅邦¹
¹静岡県立大学薬学部、²摂南大学薬学部
- P-042** 改良型酵母レポーターアッセイと HPLC による河川水のステロイドホルモン様活性評価
原島 小夜子、中島 早紀、川西 優喜、八木 孝司
大阪府立大学大学院理学系研究科
- P-043** 肝部分切除の前後 2 回経口投与によるラット肝小核試験
五十嵐 美由紀、永田 真有美、服部 千春、伊東 悟
第一三共株式会社 安全性研究所
- P-044** ホルマリン固定組織を用いた肝臓小核標本作製 ～コラゲナーゼ処理法との比較検討～
志賀野 美幸、高島 理恵、高沢 博修、濱田 修一
株式会社 L S I メディエンス
- P-045** 成獣ラットへの単回投与及び非部分肝切除による肝小核誘発のメカニズム
辻 菜穂、萩尾 宗一郎、小川 いづみ、阿部 正義、林 清吾、黒田 雄介、山岸 由和、吉野 哲哉、古川 賢
日産化学工業株式会社
- P-046** 細胞液の保存時間の結果への影響（コメットアッセイ）
田中 仁、三輪 愛、福室 真仁、永井 美穂、宇野 冬美、夏目 匡克、笠本 佐和子、鈴木 健一郎、
大羽 みちよ、飯尾 美沙子、益森 勝志、林 真
公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
- P-047** RccHan:WIST ラットと CD(SD) ラットの DNA 損傷性の比較－陰性対照および陽性対照について－
笠本 佐和子、福室 真仁、三輪 愛、田中 仁、飯尾 美沙子、夏目 匡克、鈴木 健一郎、宇野 冬美、
益森 勝志、林 真
公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
- P-048** マイクロ RNA 発現解析による、コメットアッセイ偽陽性の判定
(O-10) 岡 宏之¹、上原 健城²、森川 裕二¹、花房 弘之¹、増野 功一¹、宮島 博文¹
¹シオノギ製薬株式会社 開発研究所、²シオノギ製薬株式会社 グローバルプロジェクトマネジメント部
- P-049** *gpt delta* マウスを用いたアクリルアミドの生殖細胞に対する遺伝毒性評価
萩尾 宗一郎¹、小川 いづみ¹、阿部 正義¹、林 清吾¹、辻 菜穂¹、黒田 雄介¹、古川 賢¹、八木 孝司²、
本間 正充³、増村 健一³
¹日産化学工業株式会社生物科学研究所、²大阪府立大学大学院理学系研究科、³国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部
- P-050** DMH を用いた F344 系統 *gpt delta* ラット突然変異試験と小核試験（末梢血、骨髓、肝臓、大腸）
の統合法の検討
堀 妃佐子¹、田中 康浩¹、堤 絵梨¹、百南 綾香¹、増村 健一²、山田 雅巳²、藤居 互¹、北川 義徳¹
¹サントリービジネスエキスパート株式会社、²国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部
- P-051** *gpt delta* ラット大腸におけるヘテロサイクリックアミン誘発 *in vivo* 変異原性に対する高脂肪食の影響
高須 伸二¹、石井 雄二¹、木島 綾希¹、横尾 諭¹、能美 健彦²、西川 秋佳²、小川 久美子¹、梅村 隆志¹
¹国立医薬品食品衛生研究所病理部、²国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験センター
- P-052** ベンゾ [a] ピレンを気管内投与した *gpt delta* マウス肺中に誘導された突然変異の加齢に伴う変化
青木 康展¹、橋本 顕子¹、菅原 良樹¹、荒井 孝子¹、後藤 佐多良²、増村 健一³、能美 健彦³
¹国立環境研究所環境リスク研究センター、²順天堂大学スポーツ健康科学研究科、
³国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部

- P-053** *Pig-a*/PIGRET アッセイに関する短期試験への有用性：MMS 共同研究報告
 山田 雅巳¹、堀端 克良¹、鵜飼 明子¹、木本 崇文²、千藏 さつき²、伊東 悟³、武藤 重治⁴、宇野 芳文⁴、
 真田 尚和⁵、高島 理恵⁶、志賀野 美幸⁶、高沢 博修⁶、濱田 修一⁶、山本 美佳⁷、堀 妃佐子⁸、堤 絵梨⁸、
 和田 邦生⁹、前田 晃央¹⁰、小坂 瑞樹¹¹、木村 葵¹¹、菊月 隆太¹²、荻原 庸介¹²、京谷 恭弘¹³、
 足立 秀樹¹⁴、上松 泰明¹⁴、吉田 唯真¹⁵、成見 香瑞範¹⁶、福田 隆之¹⁷、鈴木 裕太¹⁷、後藤 玄¹⁷、森田 健¹、
 本間 正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部、²帝人ファーマ、³第一三共、⁴田辺三菱製薬、⁵科研製薬、⁶L S I メディエンス、
⁷アステラス製薬、⁸サントリー、⁹残農研、¹⁰東レ、¹¹新日本科学、¹²大正製薬、¹³クミアイ化学、¹⁴大日本住友製薬、
¹⁵武田薬品工業、¹⁶ヤクルト本社、¹⁷ボゾリサーチセンター
- P-054** MMS/*Pig-a*共同研究：アクリルアミドの遺伝毒性評価
 堀端 克良、鵜飼 明子、本間 正充
 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-055** *Pig-a*/PIGRET アッセイの共同研究：ジエチルニトロサミン
 和田 邦生、竹澤 祐造、阿部 美咲樹、松元 郷六
 一般財団法人残留農薬研究所毒性部
- P-056** *Pig-a*および PIGRET アッセイによる EMS および iPMS の *in vivo*変異原性の検出
 伊東 悟、服部 千春、花本 顕治、中山 志保
 第一三共株式会社 安全性研究所
- P-057** メチルメタンスルホン酸によるラット末梢血における *Pig-a* 遺伝子突然変異および小核の誘導
 武藤 重治、山田 勉也、加藤 竜也、岩瀬 裕美子、宇野 芳文
 田辺三菱製薬株式会社
- P-058** 大腸炎モデルを用いた大腸における変異原性非発がん物質によるマウス大腸腫瘍の誘発
 (O-9) 小山 直己¹、関 由妃¹、園田 二郎¹、棚橋 新也²、細川 暁¹、朝倉 省二¹、中野 今日子¹、羽倉 昌志¹
¹エーザイ株式会社筑波安全性研究部、²株式会社サンプラネット 安全性事業部
- P-059** alectinib の遺伝毒性誘発機序の解明
 松崎 香織、本山 茂記、田中 健司、原田 麻子、竹藤 順子、加藤 千明、竹入 章、三島 雅之
 中外製薬（株）研究本部
- P-060** エチルニトロソウレアによる小核誘発とエリスロポエチン分泌の日内リズムとの関連性
 伊藤 圭一^{1,2}、益森 勝志²、向井 大輔²、林 真²、榊原 啓之³、保田 倫子¹、下位 香代子¹
¹静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府、²公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター、³宮崎大学 農学部
- P-061** ニトロフランチインの *in vivo* 変異原性における Nrf2 の役割
 木島 綾希¹、石井 雄二¹、高須 伸二¹、横尾 諭¹、土屋 卓磨¹、児玉 幸夫²、梅村 隆志¹
¹国立医薬品食品衛生研究所病理部、²国立医薬品食品衛生研究所毒性部
- P-062** 肝発がん物質エストラゴールの突然変異誘発過程における細胞増殖活性と PP2A 不活性化の関与
 石井 雄二¹、高須 伸二¹、木島 綾希¹、横尾 諭¹、土屋 卓磨¹、児玉 幸夫²、小川 久美子¹、梅村 隆志¹
¹国立医薬品食品衛生研究所病理部、²国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター
- P-063** グルタチオン欠乏が X 線照射によって誘発される酸化ストレスに与える影響
 李 云堯¹、川崎 祐也¹、葛西 宏^{1,2}、河井 一明¹
¹産業医科大学・職業性腫瘍学、²OHG 研究所
- P-064** Connarus エキスを含有飲料飲用による喫煙の遺伝毒性抑制に関する臨床的検討
 佐々木 有^{1,2}、中村 隆典²、村重 諒²、谷口 泰造²、山崎 香代子²、本多 義昭²、相内 香澄¹、石田 優美¹、
 北村 佳久³、三谷 和男⁴
¹八戸工業高等専門学校物質工学科、²姫路獨協大学・薬、³株行医研、⁴三谷ファミリークリニック
- P-065** 1-Nitropyrene に対する緑茶中の抗遺伝毒性物質の検索
 長谷井 友尋、藤橋 愛、新開 史崇、河合 佑季、渡辺 徹志
 京都薬科大学
- P-066** サルナシ (*A. arguta*) およびその加工品の抗変異原性とその機構
 多田 美佐子¹、三宅 直子¹、沖増 佑磨²、西村 麻里²、根岸 友恵²、有元 佐賀恵²
¹岡山大学薬学部、²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

- P-067** ラット大腸がん前癌病変 (ACF) 誘発に対するサルナシ (*A. arguta*) および成分化合物の抑制効果
三宅 直子¹、多田 美佐子¹、沖増 佑磨²、西村 麻里²、旭 千春²、桧田 涼子²、根岸 友恵²、有元 佐賀恵^{1,2}
岡山大学・¹薬、²院医歯薬
- P-068** メチルニトロソ尿素に対する大豆抽出物の抗変異原性機構
相澤 聖也¹、稲見 圭子¹、立崎 仁²、望月 正隆¹
¹東京理大薬、²常磐植物化学研
- P-069** 青森県産カシスの *in vitro* および *in vivo* 試験系によるゲノムディフェンダー活性評価
山本 歩¹、廣内 篤久²、中嶋 奏¹、川守田 早織¹、奥谷 悠吾¹、上平 好弘³、加藤 陽治⁴
¹八戸工業高等専門学校物質工学科、²環境科学技術研究所生物影響部、³弘前大学地域共同センター、⁴弘前大学教育学部
- P-070** ミトコンドリアに存在する OGG1-1b と核に存在する OGG1 -1a の酵素反応速度論的解析
小川 祥¹、渡辺 貴志¹、庄司 さやか¹、隆旗 千恵^{1,2}
¹青山学院大学理工学部、²現所属：国立医薬品食品衛生研究所
- P-071** *Mutyh* 遺伝子欠損マウスを用いた酸化ストレス誘発消化管がんの解析
(O-15) 大野 みずき¹、鷹野 典子¹、佐々木 史子¹、田口 健一²、中別府 雄作^{3,4}、青木 康展⁵、能美 健彦⁶、中津 可道¹、
續 輝久¹
¹九大・医学研究院・基礎放射線医学分野、²九州がんセンター・腫瘍病理学研究室、³九大・生医研・脳機能制御学分野、
⁴九大・スクレオチドプール研究センター、⁵国立環境研究所・環境リスク研究センター、
⁶国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター
- P-072** *Mutyh* 遺伝子欠損マウスにおける酸化ストレス誘発突然変異の解析
鷹野 典子¹、大野 みずき¹、稲葉 洋平²、志村 勉²、樺田 尚樹²、中別府 雄作^{3,4}、中津 可道¹、續 輝久¹
¹九州大学大学院医学研究院基礎放射線分野、²国立保険医療科学院生活環境研究部衛生環境管理研究領域、
³九州大学生医研脳機能制御学分野、⁴九州大学スクレオチドプール研究センター
- P-073** ホルムアルデヒド暴露による紫外線感受性の上昇と DNA 損傷修復の遅延
(O-12) 楊 光、伊吹 裕子
静岡県立大学 食品栄養科学研究院
- P-074** 長波長紫外線 UVA1 は短波長紫外線による DNA 損傷の修復を阻害する
伊吹 裕子、楊 光
静岡県立大学食品栄養環境科学研究院
- P-075** Mitomycin C による DNA 損傷に対する DNA polymerase kappa の役割 - γ H2AX を指標にした免疫組織学的解析 -
本山 茂記¹、竹入 章¹、松尾 沙織里¹、和田 直子²、寺社下 浩一²、三島 雅之¹、新見 直子³、Petr Grz³、
増村 健一³、山田 雅巳³、能美 健彦⁴
¹中外製薬株式会社研究本部、²株中外医科学研究所、³国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部、
⁴国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター
- P-076** 高度好熱菌の脱アミノ化ヌクレオチド浄化酵素 Ham1 の精製と活性測定
西村 美起¹、森本 絵美子²、平津 圭一郎³、布柴 達男^{1,2}
¹国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科、²国際基督教大学 教養学部、³防衛大学校 応用科学群
- P-077** 高度好熱菌のゲノム維持機構の解明 ～ AP endonuclease nfo の役割～
相原 玲子¹、米良 花香²、江崎 和音²、平津 圭一郎³、布柴 達男^{1,2}
¹国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科、²国際基督教大学 教養学部、³防衛大学校 応用化学群
- P-078** Human EEPD1 はヌクレアーゼ活性を有する
岡田 賢治、岩井 成憲、倉岡 功
大阪大学大学院基礎工学研究科
- P-079** ヒト細胞抽出液を用いたヌクレオチド除去修復検出系の再構築
園原 由依菜、岩井 成憲、倉岡 功
大阪大学大学院基礎工学研究科
- P-080** メダカにおける TALENs 利用した遺伝子破壊による損傷乗り越え DNA 合成ポリメラーゼ変異体の作製
藤川 芳宏¹、藤原 (石川) 智子¹、佐久間 哲史²、山本 卓²、藤堂 剛¹
¹大阪大学大学院医学系研究科、²広島大学大学院理学系研究科

- P-081** **REV1 と DNA ポリメラーゼ ϵ によるグアニン酸化損傷に対する損傷乗り越え DNA 合成**
鈴木 雅代^{1,2}、川田 大周¹、森川 雅行^{1,2}、小林 隆信¹、宮澤 宏¹、喜納 克仁¹
¹徳島文理大学香川薬学部・分子生物学講座、²日本学術振興会特別研究員
- P-082** **DT40 ノックアウトパネルを用いた低酸素毒チラパザミンが生じる損傷の解析**
森脇 隆仁¹、岡本 紗季¹、笹沼 博之²、永澤 秀子³、武田 俊一²、増永 慎一郎¹、田野 恵三¹
¹京都大学原子炉実験所、²京都大学医学研究科、³岐阜薬科大学薬学部
- P-083** **8- ヒドロキシグアニン：アデニン対が誘発する変異は Werner 症候群責任遺伝子産物により促進される**
紙谷 浩之^{1,2}、中村 恵里²、牧野 哲明^{1,2}、小林 三和子³、松岡 一郎³
¹広島大・院・医歯薬保、²愛媛大・院・理工、³松山大・薬
- P-084** **5- アザ -2'- デオキシシチジンに対するヒト DNA メチル化酵素遺伝子形質転換酵母の感受性**
杉山 圭一、高宗 万希子、古沢 博子、本間 正充
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-085** **MGMT 不活性化細胞を用いた DNA 脱メチル化剤の検出**
谷口 美由紀、川西 優喜、八木 孝司
大阪府立大学理学系研究科
- P-086** **体細胞核移植法で産まれたウシの *H-19* 遺伝子におけるエピジェネティックな変化**
須藤 鎮世、守田 紘子、工藤 季之
就実大学薬学部